

進捗状況の概要

本学における本事業の平成27年度の目的は、「学修ポートフォリオシステム」の運用を軌道に乗せることにより、学生に学修の内容や成果を振り返る機会を与え、次の学修に向けた目標を立てやすくすること、また、「授業収録配信システム」を整備し、授業内容の収録、予習用コンテンツの作成を行う等、講義内容のデジタルコンテンツ化（以下、「授業コンテンツ」という。）を進め、それを各授業で積極的に活用することにより、アクティブ・ラーニングの推進を根付かせることであった。

「学修ポートフォリオシステム」については、平成26年度中の開発を予定していたが、システム要件の検討等に時間を要し、年度内に全ての開発が完了しなかったため、学生に対し、段階的に公開した。（学生が期初に利用する機能のみを平成27年4月に公開し、期末に利用する機能を6月に公開。なお、納期が遅延したことによる学生への影響はなかった。）

また、平成27年度4月以降、本事業を推進する教育開発センター（※）と各学部が連携し、教職員及び学生への本システムの利用説明を含めた周知を随時行いつつ、本システムに対する教職員の理解促進と積極的な活用を目的としたワークショップを6月に開催し、各学科における活用方法について共有・検討を行い、各学科から計49名の参加があった。

本システムを活用して学修の振り返りを行った学生の割合は、対象学生（平成27年度新入学生）のうち前期30.3%、後期26.8%であった。

「授業収録配信システム」については、平成27年7月にメディアサイト株式会社より、「授業収録配信システム」の機材である「ML HD Recorder一式」を購入し、8月に、神楽坂、葛飾、野田の各キャンパスに「授業コンテンツ収録室」（簡易スタジオ）を設置し、予約システム及び学内LMSである「Learning Management System for TUS」（以下、「LETUS」という。）と連携させることで、整備を行った。

また、教育開発センター事務局が行う、収録及び編集作業の一部をメディアサイト株式会社を外注し（平成27年9月14日請負契約締結）、連携して行うことで、収録希望教員へのサポート体制を構築し、9月から、予約申請、収録作業等の取り組みを開始することができるようになり、さらに、本システムの活用を念頭に、年間を通じて、次のとおり利用説明会及びFDセミナーを開催した。

- ・平成27年6月「アクティブ・ラーニングの質を高めるための反転授業」（導入編） 51名出席
- ・平成27年9月「アクティブ・ラーニングを推進するための授業デザイン」（実践編） 37名出席
- ・平成27年11月「授業収録配信システム利用促進説明会」 31名出席
- ・平成28年2月「授業のアクティブ・ラーニング化に向けた実践報告」（振り返り編） 59名出席

後期（平成27年9月～平成28年3月）の期間中、本システムを利用して、計97件（50授業）の授業コンテンツの作成を行い、LETUS上で当該科目の履修者を対象に公開した。

平成28年2月には、「平成27年度大学教育再生加速プログラム成果発表会」を開催し、「学修ポートフォリオシステム」及び「授業収録配信システム」の利用教員から、実際に利用してみた当該システムに対する感想、学生の活用状況、学生アンケートの結果、運営上の課題等についての報告を行ってもらい、さらに、同発表会でのパネルディスカッションにおいては、今後、「学修ポートフォリオシステム」の蓄積データのキャリア教育等への有効活用や学生の個別指導、また、「授業収録配信システム」を活用して作成した授業コンテンツの全学的な水平展開・垂直展開等についての意見交換を行い、学外者を含め76名の出席があった。（上記、平成28年2月開催のFDセミナーと同日開催）

（※）本学及び本学大学院における教育施策を実施するとともに、教育活動の継続的な改善の推進及び支援を行うことにより、教育の充実及び高度化に資することを目的に設置された組織